

# 水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>

第 5 報  
千葉県農林水産部  
平成29年7月13日

## 出穂期は平年より3日程度早い 出穂期後の水管理を徹底し、品質向上を！ 斑点米カメムシ類の防除は確実に

### [ 生育概況 ]

7月上旬の高温により生育がさらに進み、4月20日頃に植付した「ふさおとめ」、「ふさこがね」、「コシヒカリ」の出穂期は、平年より3日程度早まっています。

また、5月1日頃に植付した「コシヒカリ」は、7月22日頃から出穂期を迎えると予測されます。

表1 品種別の出穂期

| 品種          | 植付時期  | 出穂期（一部、予測）（※） |               |             |             |
|-------------|-------|---------------|---------------|-------------|-------------|
|             |       | 県北<br>（成田市）   | 九十九里<br>（茂原市） | 内湾<br>（千葉市） | 県南<br>（館山市） |
| ふさおとめ       | 4月20日 | 7月14日         | 7月10日         | 7月 9日       | 7月10日       |
| ふさこがね       | 4月20日 | 7月15日         | 7月11日         | 7月10日       | 7月11日       |
|             | 5月 1日 | 7月19日         | 7月15日         | 7月15日       | 7月15日       |
| コシヒカリ       | 4月20日 | 7月23日         | 7月18日         | 7月17日       | 7月18日       |
|             | 5月 1日 | 7月28日         | 7月23日         | 7月22日       | 7月24日       |
|             | 5月10日 | 8月 2日         | 7月29日         | 7月28日       | 7月29日       |
| 飼料用米(アキヒカリ) | 5月15日 | 7月21日頃～       |               |             |             |
| 飼料用米(夢あおば)  | 5月15日 | 7月27日頃～       |               |             |             |

(※) 出穂期とは全莖数の40～50%が出穂した日。「ふさおとめ」、「ふさこがね」、「コシヒカリ」は水稻作柄安定対策調査結果およびH28千葉県試験研究成果普及情報等から（一部、幼穂形成期からの予測値）。飼料用米は栽培事例からの予測値。

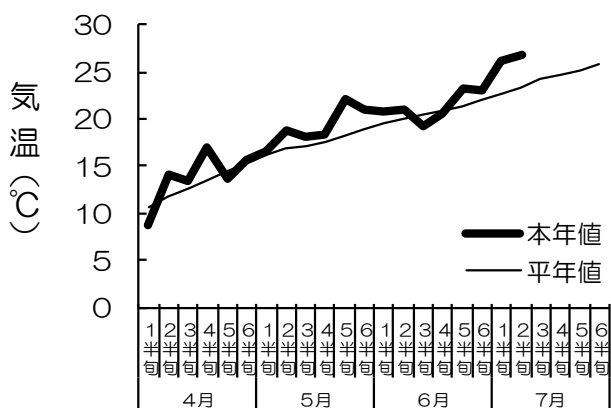


図1 日平均気温の推移（アメダス、佐倉）

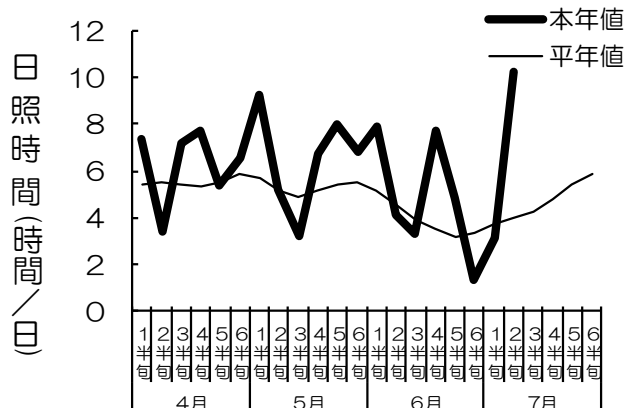


図2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

## [ これからの管理のポイント ]

### ■ 穂肥の実施

5月に植付した「コシヒカリ」は、穂肥の時期となります。生育に応じて適期に穂肥を実施しましょう。（詳細は「水稻の生育状況と当面の対策」第4報を参照）

### ■ 斑点米カメムシ類の防除（斑点米カメムシ類の多発生に注意）

飼料用米でもカメムシ類をはじめとした病害虫防除は適切に実施しましょう。

斑点米カメムシ類（特にアカスジカスミカメ）は地域により多発生するおそれがあります（農林総合研究センター「病害虫発生予報」7月12日）ので、共同防除や個別防除を確実に実施し、斑点米の発生を防ぎましょう。

なお、穂揃期頃に共同防除を実施した地域においても、その後、出穂7日後から14日後頃の乳熟期に斑点米カメムシ類が多く見られた場合は、農薬の収穫前使用日数、使用回数に注意し、追加防除を行いましょ。カスミカメムシ類にはキラップ粒剤、スタークル（アルバリン）粒剤、ダントツ粒剤も効果が期待できます。

また、周辺より出穂の早い水田や、特に遅い水田では集中的に加害されやすいので注意しましょう。

表2 斑点米カメムシ類の防除薬剤

| 収穫前使用日数  | 薬剤名  |
|----------|--|
| 収穫7日前まで  | エルサン粉剤3DL、エルサンバッサ粉剤20DL、トレボン粉剤DL、スタークル（アルバリン）顆粒水溶剤、スタークル（アルバリン）粉剤DL、ダントツ水溶剤、ダントツ粉剤DL |
| 収穫14日前まで | MR.ジョーカーEW、キラップフロアブル、キラップ粉剤DL、トレボンMC、ベストガード粉剤DL                                      |
| 収穫21日前まで | スミチオン乳剤、スミチオン粉剤3DL、アクタラフロアブル   |

（※）農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍率、収穫前使用日数、総使用回数などが定められています。ラベルをよく読んで、適正に使用しましょう。

### ■ 乳白米の発生を防止する水管理（用水を大切に）

～出穂14日後までは湛水管理を行いましょ～

4月20日頃に植付した「ふさおとめ」、「ふさこがね」は出穂期となり、「コシヒカリ」は間もなく出穂期となります。7月上旬より高温が続いているので、出穂14日後までの間は湛水管理をしっかり行い、品質低下を未然に防ぎましょ。

また、その後、出穂14日後から出穂25日後までは間断かんがいにし、徐々に田面を固め、コンバイン収穫に備えましょ。なお、排水不良田では、出穂25日後に田面が露出するよう、出穂20日後頃を目途に落水を行いましょ。

なお、早期落水は品質低下を招く原因となります。ほ場毎に適切な水管理を行いましょ。

過去に掲載した内容や病害虫の発生予察情報等については、千葉県ホームページ「生育情報」を御覧ください。（<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>）

次回の「水稻の生育状況と当面の対策」は、7月28日発行予定です。